

メンテナンスウィンドウでのvEdgeルータの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、設定の変更によって意図しない結果を引き起こす可能性がある、望ましくない停止を防ぐために、カスタマーメンテナンスウィンドウ時にViptela vEdgeを設定する方法のベストプラクティスについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

設定

お客様の導入期間これは常に推奨を使用して「排他的」オプションを使用して、設定を行います。

これにより、意図しない設定が可能になり、問題を引き起こす可能性のある実稼働環境に移行しなくなります。これらは、

デバイスへの接続が失われたり、誤ったポリシーが適用された場合に失われる形式。これにより

、 (以前に) 設定を

動作状態。

メンテナンス時間帯の前に設定を作成し、事前にラボでテストすることをお勧めします 実稼働ルータに適用します。

vEdgesで使用できる設定オプションは次のとおりです。

```
vEdge# config ?
Possible completions:
  exclusive no-confirm shared terminal |
exclusiveコマンドでを設定します。
```

```
vEdge# config exclusive
Entering configuration mode exclusive
Warning: uncommitted changes will be discarded on exit
vEdge(config)#
```

これは、commitコマンドが実行されない場合に表示されるメッセージです。

```
vEdge(config)# vpn 1
vEdge(config-vpn-1)# ip route 23.23.23.23/32 null0
vEdge(config-vpn-1)# commit confirmed 1
Warning: The configuration will be reverted if you exit the CLI without
performing the commit operation within 1 minutes.
```

```
vEdge(config-vpn-1)# exit
vEdge(config)# exit
vEdge# config exclusive
Aborted: confirmed commit in progress
```

```
vEdge#
Message from system at 2019-07-08 01:07:13...
confirmed commit operation not confirmed by admin from cli
configuration rolled back
vEdge#
```

```
vEdge# config exclusive
Entering configuration mode exclusive
Warning: uncommitted changes will be discarded on exit
vEdge(config)# vpn 1
vEdge(config-vpn-1)# ip route 23.23.23.23/32 null0
vEdge(config-vpn-1)# commit confirmed 1
Warning: The configuration will be reverted if you exit the CLI without
performing the commit operation within 1 minutes.
vEdge(config-vpn-1)#
Message from system at 2019-07-08 21:07:37...
confirmed commit operation not confirmed by admin from cli
configuration rolled back
vEdge(config-vpn-1)#
```

すべてが正しく設定されていることを確認したら、commitコマンドを実行できます。

```
vEdge(config-vpn-1)# commit
Commit complete. Configuration is now permanent.
vEdge(config-vpn-1)#
```

commit confirmedオプションの場合、次のようになります。推奨 持ち歩く 設定を検証するために5 ~ 10分 それは所定の位置に置かれた。ここでは、例として1分を使用します。

確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

show running-configまたは適切な**config-sub-block**コマンドを実行します。

検証の例を次に示します。

```
vEdge# show running-config vpn 1 ip
vpn 1
  ip route 23.23.23.23/32 null0
!
vEdge#
```

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。